

理数科【課題研究】 パフォーマンス評価（ルーブリック）

評価項目		評価基準			評価時期と評価する事業						
		A	B	C	2年		3年				
					6月 スライド*	1月 スライド*	4月 ポスター	6月 ポスター	7月 スライド*	8月 論文	
1	研究の目的	①研究動機が明確か。	研究動機が明確であり、分かりやすい。	研究動機の記載や説明はあるが、分かりにくい。	研究動機の記載や説明がない。	●	●	●	●	○	●
		②明らかにしたい事象が明確か。	明らかにしたい事象が明確であり、分かりやすい。	明らかにしたい事象の記載や説明はあるが、分かりにくい。	明らかにしたい事象の記載や説明がない。	●	●			○	
2	情報収集	既知と未知の事項について調査し、明らかにできているか。	先行研究や背景となる事象について調査し、既知と未知の事項を明らかにしている。	先行研究や背景となる事象について調査しているが、既知と未知の事項に不透明な点がある。	先行研究や背景となる事象について調査しておらず、既知と未知の事項が明らかにできていない。	●	○	○	○	○	●
3	仮説の検証	検証可能で適切な仮説を立てているか。	検証可能で適切な仮説を立てている。	検証可能な仮説であるが、適切であるか不透明である。	検証可能な仮説ではない。または、仮説の設定がない。	●	●	○	○	○	●
4	研究手法	①研究手法は妥当か。	課題を解決するための妥当な研究手法である。	課題を解決するための研究手法として疑問が残る。	課題を解決するための研究手法として明らかに不適である。	●	●	●	○	●	●
		②実験データを記載できているか。 ※数学チームは除く	実験データが記載されており、実験回数や日時、内容、対象者等の明確な記載がある。	実験データを記載しているが、実験回数や日時、内容、対象者等の明確な記載がない。	実験データの記載がない。		●	●	●	●	●
		③データに基づき、論理的に考察できているか。	得られた結果から論理的な考察を行えている。	考察はしているが、結論に至る過程で論理性に無理がある。	考察がない。				●	●	●
5	研究の進展	研究のプロセスを複数回行えているか。 ※数学チームは除く	《実験・観察・考察・次回の実験計画》のプロセスにもとづき、2回以上行えている。	《実験・観察・考察・次回の実験計画》のプロセスにもとづき、1回行えている。	《実験・観察・考察・次回の実験計画》のプロセスにもとづいて行えていない。					○	●
6	情報の表し方	①表やグラフ、図を活用し分かりやすく表現しているか。	表やグラフ、図を活用し、分かりやすく表現している。	表やグラフ、図は記載されているが、分かりにくい。	表やグラフ、図が活用されていない。			●	●	●	●
		②発表時の声の大きさや態度はどうか。	原稿を見ず、大きな声で、聴衆の方を見て発表できている。	左記3観点のうち1つ物足りないものがある。	2つ以上物足りない点がある。	○	●	●	●	●	●
		③質問に対する応答は適切で分かりやすいか。	質問された内容を理解し、適切な回答ができている。	回答がやや的外れである。または、回答するまでにしばらく時間がかかっている。	回答することができなかった。		○	○	●	○	
		④参考文献・引用文献を正しく記載しているか。	参考文献・引用文献を正しく記載している。	参考文献・引用文献の記載はあるが、記載の仕方が不十分である。	参考文献・引用文献の記載がない。	●	●	○	○	●	●

※取組段階に応じて●の項目を評価する